



「コミュニティユニオン東京」ニュース N0113号 2019年6月28日
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-meil staff@cutokyo.jp
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

CU東京第11回大会を1350人で迎える！ 参院選に勝利し、2019年を歴史的な年に！ 新しい労働運動で、切り開いた到達と展望を確信に！



CU東京は、6月22日、第11回定期大会を、ラパスホールで開催しました。大会には代議員55人、特別代議員2人、執行委員21人、来賓6人、その他2人の86人の参加でした。大会は組合員130人の実増、組織人数1350人、1年間労働相談活動は389件、活気に満ちた大会になりました。

—来賓の挨拶—



結成から毎年100人、200人と実増し、労働相談活動の努力に敬意を表します。安倍首相の改憲策動を共闘の力で阻止しよう。参院選勝利で、要求を実現していこう。



これだけ組織拡大をしっかりとやっている組合は東京地評でもそうありません。最賃が注目されています。組合のたたかひの成果です。「最低生計費調査」を成功させ、1500円めざそう。



先日、38歳の男性の相談を受けました。解雇で、所持金は数十円。駆け込み寺の役割痛切に感じました。今

CU東京結成10周年、参院選に勝利し 2019年を歴史的な年に！

執行委員長 小倉一男

CU東京は2019年6月、10周年を迎えました。この10年間、「非正規が当たり前の時代」、新しい労働運動として、「駆け込み寺」の役割を担い、現在、1350人になりました。参院選に勝利し、安倍政権を少数に追い込みましょう。9条改憲阻止、消費税増税中止、最賃大幅引き上げを実現しましょう。年内1500人の組織めざして奮闘しよう。（挨拶より）



後、高齢者、外国人など危惧されます。ともに頑張りましょう。



相談があっても相談できない組合もあると聞きます。地域でCUは力になります。働く人の拠り拠り所です。東京土建も拡大で頑張ります。1500人の早期達成期待しています。



大会おめでとうございます。参院選は共闘が32選挙区で一本化できました。安倍政権を少数に追い込みましょう。わたしもCUに加わりました。相談に応えていきましょう。

— 発言 —

組合に確信を持って活動 地域で存在感を増して



菊池恒美代議員（中野）

中野は2017年結成、19人から30人を超えるまでに。毎月宣伝をつづけ、青年が体験を訴え反響があり、若い人が相談に来ています。新しい支部の結成の提案、期待しています。



三宅一也代議員（三多摩）

組合に確信を持って活動すること大事です。年間33件労働相談に、3人ずつ対応しています。交流も兼ねた争議報告会も続けています。300人を大会まで達成したい。



山田三平代議員（文京）

地域の中で存在感増していると感じています。80人を超えたあたりから変わってきました。春は10人達成です。東洋大の学生がバイトの件で相談に来ました。大志を持って頑張ろう。



中村元代議員（こうとう）

ヒューレットパッカーの青木さんの争議解決しました。ご支援に感謝します。単産とのタイアップで二つの争議解決。7月28日横浜にレクで行き、中華街で交流を計画しています。9月の大会は300人で迎える決意です。



柳生秀行代議員（葛飾）

昔は建設業で東京土建に入っていました。今はカラオケ経営で、CUに入り相談活動しています。支部は55人になりました。参院選で消費税増税は大きな争点です。軽減税率でインボイス方式がいられていますが、大問題です。訴え知らせ、やめさせよう！

海崎治代代議員（渋谷）



先に大会を開きました。200人目標で奮闘しましたが171人で迎えました。体制や相談活動が大変です。若い人が頑張っています。執行委員も8人が女性。渋谷集会の経験生かし、あらたな取り組みに向けて頑張っています。

大会に駆けつけた東洋大・学生2人が加入 大学のバイトで相談に（中央のお二人）



左が文京の山田書記長、右は小倉本部委員長

《メッセージ紹介》

コミュニティユニオン東京第11回定期大会の開催をお祝い申し上げます。

私は、2009年のコミュニティユニオン東京の結成大会でご挨拶をする機会を得て、また結成間もない時期と翌年に合わせて3回、そして500人を突破した2013年に2回講演にうかがいました。500人を突破した時に、すでに13の支部がありましたから、前半の5年間は支部が次々に結成されていくことで組織が大きくなる時期、次の5年間はその後結成された支部を含めて、一つひとつの支部が大きくなっていく時期であることがよくわかります。

コミュニティユニオン東京は、共済活動と社会的力による労働条件の改善を規約で掲げてきましたので、その力が発揮されたこと、さらに労働相談を通じて活動を発展させてきたこと、そして、それらを通じて地域に働く人びとの信頼を得てきていることが証明されたと思います。

このかんの発展を支えられてきた役員と労働相談員の皆さん、また支援をされた東京地評加盟の組合の皆さん、東京土建OBの皆さんの尽力に敬意を表します。私も、職場の教員組合の組合員で、また東京地評の組合員でもあります。コミュニティユニオン東京の発展を仲間の一人としてとても喜んでおり、今後のさらなる前進を期待致します。第11回定期大会おめでとうございませう。



浅見和彦専修大学教授

2018年度 年間労働相談結果について

「駆け込み寺」の役割発揮 年間389件

2018年4月から2019年3月の労働相談件数は、文京、足立、千代田、渋谷、江戸川、江東、港、品川、練馬、葛飾、中野、三多摩、豊島、団体の14支部で合計389件です。一昨年は319件、昨年が340件で、昨年との対比では12.4%増、一昨年との対比では22.0%増です。事業所の多い、千代田、江戸川、江東、港が年間約50件を越え、江東は113件で毎年100件を超えています。支部ごとに昨年と比較すると、文京(7→12)、足立(18→15)、千代田(30→49)、渋谷(15→12)、江戸川(26→46)、江東(112→113)、港(59→50)、品川(10→8)、練馬(9→18)、葛飾(9→7)、三多摩(32→33)、中野(6→9)、豊島(9→8)、団体(5→8)です。

相談者の組合加入率は、2016年度が34.0%、17年度が36.4%、18年度42.9%で昨年より上がりました。労働相談者の組合加入率で50%を超したのが、文京、千代田、渋谷、品川、三多摩、団体の6支部。文京が66.7%、千代田が65.3%、渋谷が50%、品川が87.5%、三多摩が90.9%、団体が100%です。**相談の解決率は**、2016年度が21.0%、17年度が23.7%、18年度が28.1%で昨年より上がりました。相談者の年齢が30代から50代に集中、千代田と港は30代の相談者の多いのが特徴です。

労働相談内容は、「解雇・雇止め・退職強要」が今年度も第1位、第2位「労働契約・賃金労働条件」、第3位「嫌がらせ・イジメ・セクハラ・パワハラ」、第4位「賃金未払い・残業代未払い」です。**相談経路は、「ネット」がトップ**、以下「組合員(紹介含む)」「全労連ホットライン(労働相談ホットライン)」「民主団体・政党」の順。ビラ・チラシは昨年の4.0%より下がり3.1%。ネット経由は、一昨年は9.6%、昨年が16.5%、今年は22.9%で急増です。**解決手段は、団体交渉がダントツ**、解決内容も団交による金銭和解が圧倒的です。109件の解決のうち職場復帰は14件。労働委員会も含む法廷闘争・労働審判による解決(和解も含む)は10件(9.2%)、労働審判・労働委員会・地裁本訴の提訴件数の合計は12件(昨年8件)でした。



労働相談活動は、全支部にアンケート、1年間の集約です。川村副委員長がまとめました。大会に報告しました。左・写真開会あいさつ川村副委員長。

2019年 CU東京新役員一覧

- 執行委員長 小倉一男 (こうとう)
- 副委員長
唐澤一喜 (東京土建) 平山和雄 (団体)
川村好正 (こうとう) 高島素昭 (練馬)
大江拓実 (三多摩) 寺川知子 (三多摩)
- 書記長 高木典男 (団体)
書記次長 宮本 一 (三多摩)
- 執行委員
鈴木明彦 (ちよだ) 高橋 孝 (港)
松井優希 (こうとう) 佐藤盛雄 (品川)
宮澤罔寛 (江戸川) 柳生秀行 (葛飾)
岡野健次 (葛飾) 宮下武美 (足立)
山田三平 (文京) 作田信義 (豊島)
根岸弘子 (練馬) 伊藤栄江 (渋谷)
菊池恒美 (中野) 三宅一也 (三多摩)
遠藤日出男 (団体) 岡 秀明 (団体)
前澤 檀 (団体)
- 会計監査
渡辺 睦 (東京土建) 塚本晴彦 (団体)

メッセージ・祝電

東京自治労連 東京都教職員組合
埼玉ユニオン (SU埼玉) 全労連・新宿一般
年金者組合東京都本部
東京社会保障推進協議会
働くもののいのちと健康を守る東京センター
新日本婦人の会東京都本部
鷺見賢一郎弁護士
吉良よし子日本共産党参議院議員
浅見和彦専修大学教授
桜保険事務所 (株)日本共同システム

CU東京第11回大会は13時30分開会、代議員定数55人全員が出席、川村副委員長の開会あいさつ、議長に松浦代議員(渋谷)、小野塚代議員を選出、議事次第、大会諸役員を確認。

小倉委員長挨拶につづき、来賓5人が挨拶(1面)経過報告を高木書記長、方針を平山副委員長が提案、討論の後、会計も併せ採択。発言は5人(2面)。スト権投票は全員の賛成で可決。役員選出は定数内の立候補、拍手で確認。

大会は今年度の活動を歴史的な年にとよびかけ、選挙に勝利し、組合活動の新たな展開と前進を呼びかけました。年内に1500人の到達を確認しました。大江副委員長の閉会挨拶で終了しました。

大会後、同会場で、17時から交流会、進行は宮本書記次長、東洋大学生2人の組合加入も飛び込み、大いに盛り上がりました。全支部から決意、闘いの報告、歌も披露され、懇親を深めました。

渋谷支部第8回定期大会

CU渋谷が地域に必要



6月2日、渋谷支部第8回定期大会を渋谷勤労福祉会館で開催。参加者は21人、伊藤委員長のあいさつ、海崎書記長の提案、参加者全員の発言、来賓の連帯挨拶、役員を選出などを行いました。組合員171人で大会を迎えたこと、昨年の渋谷集会の成功が、区内の連帯を広げてきたことなど地域に根差した運動の重要性が報告され、一人でも加入できる労働組合が地域にとって必要なことなどが多くの方から発言されました。

来賓は、CU本部の平山副委員長、渋谷民商の市原副会長、代々木法律事務所の久保木弁護士、都労働情報センターの山崎主事、渋谷区労連の田辺議長、日本共産党渋谷区議会議員のトマ孝二、からそれぞれ挨拶がありました。大会終了後、12時半より交流会が行われ和やか交流しました。更に来賓で来られたトマ区議から交流会時に電話があり、「たった今、CU渋谷の組合員加入の拡大をしたよ、今からそちらにいきます」とうれしい知らせがあり、新しい組合員も交流会に加わり、大いに盛り上がりました。

【大会で選出された役員】委員長・海崎治代、副委員長・伊藤栄江、松浦由紀子、書記長・田辺勝彦、執行委員・金子ますみ・荒井佳子・酒井大・清見暁・丹野典子、会計監査・田中重一

中野支部第3回定期大会

30人で迎えた、次は50人を！



5月26日(日)、中野支部は第3回定期大会を開催しました。記録的な猛暑のなか、17人が参加、大会は成功。2019年度の運動方針と予算を決定、役員を選出、「50人の支部」をめざして新たなスタートを切りました。

冒頭、中村委員長は「19人で支部を結成して2年、30人を超えて大会を迎えた。次は50人めざし、大きくしていこう」と訴えました。来賓のCU東京・高木書記長は「非正規雇用や低賃金の広がり、安倍政権下で残業代ゼロ制度や外国人労働者の大量受け入れなど、労働環境が酷くなっている。CUの役割はますます大きい」と挨拶。東京土建中野支部、中野労連が挨拶。共産党小杉区議は「区民の力で中野区政が変わりつつある。前にすすめるため市民と野党の共闘に尽力する」と挨拶。討論は、若い人の発言が続き、「正規と非正規の格差が大きく、是正が必要。闘いがなければ正規が下げられかねない。」「以前、ブラック企業で働いていて悔しい思いをした。駅の宣伝で訴えている。組合もITの活用を」など積極的な意見が出ました。

【大会で選出された役員】委員長・中村文康。副委員長・佐藤利信・石井富郎、書記長・菊池恒美、書記次長・板垣寿一・牧野大志、執行委員・中村裕次・山北知伸、会計監査・今福郁。

■第11回大会を1350人で迎えました。年間の労働相談は389件。発言でも広がり確信を深めました。組織拡大と「駆け込み寺」の役割発揮、相乗効果です。■大会後、交流会に、文京でバイトの問題で相談に乗っていた東洋大の学生2人が次々に駆けつけ、組合に加入。CUでも初めての体験。大きな拍と歓声が起こりました。■参院選が目前、安倍政権の欺瞞とウソの政治はこれ以上ゴメンです。共闘の力を発揮し、安倍政権を少数に追い込む時です。